



— 本日のプログラム —

- ◆国歌斉唱『君が代』
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆卓話 畝 和弘会員
テーマ『写真と動画でみる、日本ジェットロUAE
投資環境視察 ミッション参加報告』

第2754回例会（8月25日）報告

司会：松岡恵水 S A A 委員

- ◆開会点鐘 柴田 薫会長
- ◆ロータリーソング『四つのテスト』
- ◆ロータリーの目的唱和 古川 豊会員
- ◆ゲスト及びビジター紹介 柴田 薫会長
・米山奨学生 ディリラバ・ポリドンさん（中国）
・カウンセラー 多田 茂さん（白山石川 R C）
- ◆会長の時間 柴田 薫会長

本日は、米山記念奨学生の迪力熱干吧 博力東（ディリラバ・ポリドン）さんに「シルクロードから日本まで」と題し卓話をお願いしました。カウンセラーの多田 茂さんが白山石川 R C よりおいでくださいました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のため日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンによる寄付金を財源とした奨学金を支給し、支援する民間の奨学財団です。将来、母国と日本との懸け橋となつて、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することが目的です。つまり学業に対する熱意や優秀性は勿論のこと、R C を通して日本の文化・習慣に触れることで、社会参加と社会貢献の意識を高め、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されています。

米山記念奨学会の奨学生の採用数は年間860人、事業費は14億4千万、これまでに支援してきた奨学生数は累計21,023人、その出身国は世界129の国と地域に及んでいます。米山記念奨学会の特色は、奨学金による経済的な支援だけでなく、お世話してくれる R C と個人的ケアにあたるカウンセラーがいることです。奨学生は世話クラブの例会に月一度出席し、様々な職業、世代で構成される R C 会員と積極的に交流して、国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。米山奨学生とロータリアンの交流は、双方にとって財産となるものと考えます。

米山奨学事業は、日本初の R C 創立に貢献した事業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京 R C で始められたこの事業は、やがて日本の共同事業に発展し、1967年文部省（現在の文部科学省）の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

◆幹事報告 山上剛史幹事

・穴水 R C より、活動要覧を拝受致しております。
また、8月28日(金)の例会は、例会場使用不可の為、休会と致します。

・能都 R C より、例会変更のご案内が届いております。
8月27日(木)の例会は、納涼例会の為、午後6時30分より柳田植物公園花菖蒲で開催。

◆出席報告 片山一朝出席・ニコニコ B O X 委員長

8月25日の暫定出席率：74.07%

（出席20名、欠席7名）

8月11日の確定出席率：66.67%

（出席18名、欠席9名、メーク加算0名）

◆ニコニコ B O X 報告 片山一朝委員長

・ディリラバ・ポリドンさん、ようこそ輪島ロータリーへ、卓話宜しく申し上げます。柴田 薫会長
・カウンセラー多田 茂様、輪島ロータリーへようこそおいで下さいました。柴田 薫会長

・多田さん、ディリラバさん、輪島ロータリークラブへようこそ。本日は宜しく申し上げます。山上剛史幹事
・米山カウンセラー多田 茂様、米山奨学生ディリラバ・ポリドンさん、ようこそ輪島 R C へ。松岡恵水会員
・米山奨学生ディリラバ・ポリドンさん、カウンセラー多田 茂様を遠方よりお迎えして。卓話宜しく申し上げます。徳野喜一郎会員

・ディリラバ・ポリドンさん、ようこそ輪島 R C へ。卓話楽しみです。今井善弘会員

・卓話楽しみです。米山奨学生、シルクロードから輪島ロータリークラブへようこそ。古川 豊会員
・ディリラバ・ポリドンさん、輪島ロータリーへようこそ。卓話宜しく申し上げます。池端速雄会員

◆卓話者紹介 多田 茂カウンセラー（白山石川 R C）

◆米山奨学生 ディリラバ・ポリドンさん（中国）

テーマ『架け橋：シルクロードから日本まで』

母国、新疆ウイグル自治区の地理や文化、生活環境等をプロジェクターを使って紹介し、留学先の金沢大学医学部で食道ガンの研究をしている事や、国際色豊かで独特の民俗文化のある金沢市の感想、そして米山奨学生に認定されたことによりアルバイト生活から解放され、研究や勉強に専念出来るようになった事への感謝の気持ちを述べられた。帰国後は医師になって、新疆ウイグル自治区の医療に貢献し日本との懸け橋となつて頑張りたいと決意表明をされた。



◆閉会点鐘 柴田 薫会長

〔編集：保下信一会員〕